

令和 8 年 度 当 初 予 算

令和 7 年 度 2 月 補 正 予 算

主 要 事 項 の 概 要

農 林 水 産 部

# 農林水産部 令和8年度当初予算総括表

## 1 一般会計

単位:千円

款 名	項 名	令和8年度 当初予算額 A	令和7年度 当初予算額 B	増 減 額 A-B	率 A/B	令和8年度の財源内訳				令和7年度 国補正等関連 (12月・2月補正) C	率 (A+C)/B
						国支出金	地方債	その他	一般財源		
農林水産業費	農林水産業企画費	11,014,434	10,130,678	883,756	108.7%	2,977,141	1,092,200	2,168,147	4,776,946	1,417,465	122.7%
	農業費	12,283,414	12,340,064	△56,650	99.5%	5,520,223	1,438,400	44,465	5,280,326	8,437,048	167.9%
	畜産業費	4,117,912	2,446,469	1,671,443	168.3%	500,721	2,488,500	23,596	1,105,095	973,392	208.1%
	農地費	14,924,955	14,659,365	265,590	101.8%	5,084,746	6,599,000	1,948,793	1,292,416	6,519,997	146.3%
	林業費	13,379,762	12,932,459	447,303	103.5%	3,179,906	4,313,400	2,249,739	3,636,717	2,319,718	121.4%
	水産業費	6,469,568	6,503,232	△33,664	99.5%	2,398,252	2,135,300	54,422	1,881,594	661,800	109.7%
災害復旧費	農林水産施設災害復旧費	5,037,555	8,774,041	△3,736,486	57.4%	4,665,353	271,300	91,203	9,699	0	57.4%
計		67,227,600	67,786,308	△558,708	99.2%	24,326,342	18,338,100	6,580,365	17,982,793	20,329,420	129.2%

## 2 特別会計

単位:千円

会 計 名	令和8年度 当初予算額 A	令和7年度 当初予算額 B	増 減 額 A-B	率 A/B	令和8年度の財源内訳				備 考
					国支出金	地方債	その他	一般財源	
就農支援資金貸付事業特別会計	8,589	17,499	△ 8,910	49.1%	0	0	8,589	0	
県営林造成事業特別会計	308,125	308,854	△ 729	99.8%	3,000	0	305,125	0	
林業改善資金助成事業特別会計	30,779	33,623	△ 2,844	91.5%	0	0	30,779	0	
沿岸漁業改善資金助成事業特別会計	72,129	98,416	△ 26,287	73.3%	0	0	72,129	0	
計	419,622	458,392	△ 38,770	91.5%	3,000	0	416,622	0	

# 農林水産部予算の内訳

## 1 農林水産部予算

単位:千円

区 分	令和8年度 当初予算額 A <small>(上段( )書の金額は R8当初+R7国補正等関連)</small>	令和7年度 当初予算額 B <small>(上段( )書の金額は R7当初+R6国補正等関連)</small>	率  A/B
人 件 費	9,971,356	9,318,563	107.0%
公 共 事 業 費	(31,274,788) 22,463,658	(30,083,715) 22,274,215	(104.0%) 100.9%
補助公共事業	(26,871,305) 18,060,175	(25,713,711) 17,904,211	(104.5%) 100.9%
県単公共事業	4,403,483	4,370,004	100.8%
災 害 復 旧 費	5,037,555	8,774,041	57.4%
直 轄 負 担 金	(1,599,184) 1,440,517	(1,328,035) 1,238,817	(120.4%) 116.3%
非 公 共 事 業 費	(39,674,137) 28,314,514	(33,181,748) 26,180,672	(119.6%) 108.2%
計	(87,557,020) 67,227,600	(82,686,102) 67,786,308	(105.9%) 99.2%

## 2 農林水産部公共事業

単位:千円

事 業 区 分	令和8年度 当初予算額 A <small>(上段( )書の金額は R8当初+R7国補正関連)</small>	令和7年度 当初予算額 B <small>(上段( )書の金額は R7当初+R6国補正関連)</small>	率  A/B
補 助 公 共 事 業	(26,871,305) 18,060,175	(25,713,711) 17,904,211	(104.5%) 100.9%
農 地 関 係 (農業農村整備事業)	(15,597,632) 9,236,302	(14,718,927) 9,187,327	(106.0%) 100.5%
林 業 関 係 (造林・林道・治山事業)	(6,989,074) 5,201,074	(6,720,715) 5,104,215	(104.0%) 101.9%
水 産 関 係 (漁場・漁港整備事業)	(4,284,599) 3,622,799	(4,274,069) 3,612,669	(100.2%) 100.3%
県 単 公 共 事 業	4,403,483	4,370,004	100.8%
農 地 関 係 (農業農村整備事業)	2,675,387	2,692,374	99.4%
林 業 関 係 (造林・林道・治山事業)	1,333,212	1,351,194	98.7%
水 産 関 係 (漁場・漁港整備事業)	394,884	326,436	121.0%

(公共事業担当課：農山漁村振興課、農村森林整備課、林業振興課、水産振興課)

# 園芸産地競争力強化対策

## ◎活力ある高収益型園芸産地育成事業費

### 1 事業内容

園芸産地の競争力を強化するため、各地域が重点的に振興する品目の施設整備や長寿命化対策等に係る経費を助成

### 2 事業実施主体 営農集団、認定農業者、農協等

### 3 補助率 1/2又は1/3以内

### 4 予算額 ( )は前年度予算額 当初:1,453,500千円 (1,453,500千円)

#### ○園芸農業DX推進事業 [12月補正:150,325千円]

デジタルデータを活用したスマート農業機械等の導入を支援

#### ○園芸農業生産基盤パワーアップ事業 [2月補正:987,705千円]

産地の収益力向上に必要な低コスト耐候性ハウス等の導入を支援

《担当課：園芸振興課》

## ◎園芸品目生産拡大・ブランド力強化費

### 1 事業内容

#### (1) 「あまおう」競争力集中強化 [当初:40,997千円]

① 各産地の「あまおう」を集約して空輸する輸送体制を構築

② 高品質な「あまおう」の栽培技術を確立及びプレミアム商品販売 等

#### ○「あまおう」生産力強化集中支援事業 [12月補正:408,600千円]

規模拡大に取り組むあまおう生産者の高設栽培施設の整備を支援

#### (2) 世界に打って出る八女茶の生産販売強化 [当初:87,852千円]

① 煎茶から碾茶への生産転換に必要な被覆資材の導入経費を助成

② 首都圏・県内のカフェで「八女抹茶」のプロモーションを実施

③ 米国・英国を対象に、バイヤー産地招聘や現地でフェアを実施 等

#### ○オーガニック八女茶生産推進事業 [12月補正:31,739千円]

八女茶生産者のオーガニック茶栽培への転換に必要な費用を支援

### 2 事業実施主体 (1)(2)②③ 県、(2)① 農業者

### 3 補助率 (2)① 1/2

### 4 事業実施期間 (1)(2) 令和7～9年度

### 5 予算額 ( )は前年度予算額 当初:128,849千円 (136,485千円)

《担当課：園芸振興課、輸出促進課、福岡の食販売促進課、農林水産政策課》

## ◎新 暑さに負けない！園芸対策強化費

### 1 事業内容

① 高温対策のための機械・施設の導入経費を助成

② 気候変動に対応した柿の県育成品種の導入を支援

③ 気候変動に対応した果樹や花きの安定生産技術を開発・実証

ア 果樹における障害果の発生予測モデルや対応技術の開発

イ 菊の安定出荷に向けた長期保存技術の実証

### 2 事業実施主体 ① ② 農業者 ③ 県

### 3 補助率 ① 1/2又は1/3以内 ② 定額

### 4 事業実施期間 令和8～10年度

### 5 予算額 当初:46,201千円、2月補正:159,491千円



▲ミスト冷房による高温対策



▲県育成品種の柿「陽秋」

《担当課：園芸振興課》

## ◎園芸農業研究機関整備費

### 1 事業内容

園芸農業の先端技術を研究開発する園芸ADTECセンターの整備に係る実施設計、用地造成、用地取得を実施

### 2 事業実施主体 県

### 3 事業実施期間 令和5～10年度

### 4 予算額 ( )は前年度予算額 当初:459,665千円 (24,820千円)

《担当課：農林水産政策課》

## ◎新 産学官連携による園芸農業研究開発強化費

### 1 事業内容

園芸農業における先進技術の開発・普及を進めるため、産学官で構成する「ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアム」において、共同研究等を実施

### 2 事業実施主体 県

### 3 事業実施期間 令和8～10年度

### 4 予算額 4,619千円

《担当課：農林水産政策課》

# 水田農業経営力強化対策

## 1 事業目的

本県水田農業の経営力を更に高めるため、米・麦・大豆の生産強化を進めるとともに、生産コストの低減、担い手への農地集積・集約化を支援する。

## 2 事業内容

### (1) 県産米・麦・大豆の生産強化

[当初：16,360千円]

#### ① 夏期の高温対策を強化

- ア **新** 暑さに強い県産米「元気つくし」等の種子確保のため、種子専用乾燥機の導入経費を助成
- イ **新** 衛星データ等の活用による高温条件下に対応した水稻・大豆の高収量・高品質生産技術を開発
- ウ 高温といもち病に強い米の極早生品種を開発



▲高温条件下での水稻評価試験

#### ② 米粉や酒米の生産支援

- ・米粉用米を新たに作付する担い手に対し、作付に必要な経費を助成

#### ○ 酒米生産支援事業 [12月補正:97,090千円]

県内の酒米生産を維持するため、酒米の仕入れに必要な経費を助成

### (2) 担い手の生産性向上支援 [当初：144,953千円、2月補正：4,787,691千円]

- ア 農作業の集約化、生産コストの低減及び麦・大豆の面積拡大に取り組む担い手に対し、高性能機械の導入・改修経費を助成
- イ 農業共同利用施設の高機能化や統合に要する経費を助成



▲ドローンによる防除作業

#### ○ 水田農業DX推進事業 [12月補正:622,712千円]

経営規模拡大等に取り組む担い手に対し、スマート農業機械の導入経費を助成

#### ○ 水田農業担い手機械導入支援費(補正分) [2月補正:402,628千円]

農作業集約化及び生産コスト低減に取り組む担い手が行う機械導入経費を助成

### (3) 担い手への農地集積・集約化と大区画化を加速 [当初：1,018,246千円]

#### ① **新** 未来の農業をつくる構造転換緊急プロジェクト

- ア 農地の将来像を示す地域計画のブラッシュアップを支援するため、地域の対話や合意形成を促すコーディネーターを派遣
- イ 農地の集約化を加速するため、地域への支援金の交付や必要な機械導入経費を助成
- ウ 水門等の遠隔操作に必要な情報通信設備の整備に要する経費を助成



▲大区画化した農地

#### ② 農地中間管理機構等による農地集積・集約化への支援

- ア 農地の集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構の体制を強化
- イ 畦畔除去や機械進入路の整備等、農地の区画拡大に係る経費を助成

## 3 事業実施主体

- (1) ① ア 種子生産者 イ ウ 県 ② 新規米粉用米生産者、県酒造組合
- (2) ア 認定農業者、集落営農組織等 イ JA等
- (3) ① ア 県 イ 市町村、認定農業者、集落営農組織等 ウ 土地改良区
- ② ア 農地中間管理機構 イ 認定農業者、集落営農組織等

## 4 補助率

- (1) ① ア 1/2 以内 ② 定額、1/2 以内 (2) ア 1/3 以内 イ 8/12 以内
- (3) ① イ 定額、6/10 以内 ウ 定額 ② ア 定額、8/10 以内 イ 定額

## 5 事業実施期間

- (1) ① ア イ 令和8～10年度 ウ 令和7～9年度 ② 令和5～8年度、令和6～9年度
- (2) ア 令和4～8年度 イ 令和7～8年度
- (3) ① ア イ ウ 令和8～10年度 ② ア 令和8～12年度 イ 令和3～9年度

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初：1,179,559千円(913,277千円)、12月補正：719,802千円、2月補正：5,190,319千円

《担当課：水田農業振興課、農林水産政策課、福岡の食販売促進課、農村森林整備課》



# 畜産競争力強化対策

## 1 事業目的

飼料価格の高止まりにより、畜産経営を取り巻く情勢が厳しい中、本県畜産業の競争力強化を図るため、「博多和牛」、「はかた地どり」をはじめとした県産ブランド畜産物の生産基盤の強化に向けた取組等を推進する。

## 2 事業内容

### (1) 畜産経営の基盤強化 [当初:15,049 千円、2月補正:925,445 千円]

#### ① 生産拡大・収益性向上対策

ア 生産規模の拡大や生産効率の改善に必要な施設・機械の整備経費を助成

イ **新** 県内で初めて米国・EU向け輸出に対応した、新食肉センターの整備経費を助成

#### ② ゲノミック評価の導入支援

・乳用牛の能力を早期に評価するためのDNA解析経費を助成



▲生産効率を改善する機械  
〔牧草をロール状に圧縮し、フィルムでラッピング〕

### (2) 「博多和牛」の生産・基盤強化 [当初:32,594千円、2月補正:47,947千円]

#### ① 生産強化対策

ア 肥育農家に対し、出荷頭数の拡大に必要な肥育もと牛の導入経費を助成

イ 繁殖農家に対し、規模拡大に必要な畜舎や省力化機械の整備経費を助成



▲博多和牛の肥育の様子

#### ② 販売強化対策

・博多和牛の取扱店における販売コーナーの強化や博多駅での音声広告など、消費拡大に向けた取組を支援



▲博多和牛

### (3) **新** 夏期の高温対策を強化

ア 暑熱ストレスを軽減するために必要な施設・機械の整備経費を助成

イ 遺伝的能力評価を活用した暑熱耐性の高い乳用牛の導入や、人工授精用精液の利用に要する経費を助成

[当初:35,620千円]



▲畜産用大型送風機

### (4) **新** 「はかた地どり」の供給体制を強化

[当初:12,771千円、2月補正:234,924千円]

・AI技術を活用した「はかた地どり」の肉質向上に向け、原種鶏の育成・選抜のための鶏舎を農林業総合試験場に整備



▲はかた地どり

## 3 事業実施主体

- (1) ① ア 認定農業者、営農集団、農協等 イ 食肉事業者 ② 農協  
(2) ① 認定農業者、営農集団、農協等 ② 県、生産者団体  
(3) ア 認定農業者、営農集団、農協等 イ 農協 (4) 県

## 4 補助率

- (1) ① ア 1/2 又は 1/3 以内 イ 2/3 以内 ② 定額  
(2) ① 定額又は 1/2 以内 ② 1/2 以内 (3) ア 1/2 以内 イ 定額

## 5 事業実施期間

- (1) ① ア 令和2～8年度 イ 令和8～10年度 ② 平成29～令和8年度  
(2) ① 平成29～令和9年度 ② 令和7～9年度 (3) (4) 令和8～10年度

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初:96,034 千円 (61,778 千円)、2月補正:1,208,316 千円

《担当課:畜産課、農林水産政策課》

# 農林水産業の次代を担う「人財」の育成

## 1 事業目的

新規就業者の確保・育成に加えて、持続的な農業生産を担う「企業型経営体」を育成するとともに、企業参入や農業DX、女性農業者の活躍を推進する。

## 2 事業内容

### (1) 新規就業者の支援 [当初：1,638,683千円、2月補正：26,928千円]

#### ① 農業関係

- ・就農前後の所得を確保するために必要な資金を交付
- ・就農開始に必要な機械・施設等の導入経費の助成

#### ② 林業関係

- ・林業新規就業者への技術指導に要する経費を助成（国直採）

#### ③ 漁業関係

- ・漁船漁業の独立前の長期研修や独立直後に必要な資金を支援（国直採）
- ・個別相談会の開催や専門家の派遣で、ノリ養殖経営体の法人化を支援

### (2) **新** 未来の農業を支える担い手の確保を強化 [当初：13,003千円]

ア 農業の基礎知識を学んだ農業高校生を対象に農業法人フォーラムや合同説明会等を開催し、農業高校生と農業法人のマッチングを実施

イ 企業の農業参入に関する相談に効率的に対応できるよう、ワンストップ相談窓口を設置

### (3) 強い農業構造の確立を推進 [当初：156,913千円]

ア 持続的な農業生産を担う「企業型経営体」を育成するため、経営判断能力を高める研修を実施

イ 上記研修を受講する経営者を対象に、規模拡大や生産性向上に必要な機械等の導入経費を助成



▲経営戦略マネジメント研修

### (4) 農業DXの推進 [当初：35,456千円]

- ア 農業大学校において、クラウドシステムを活用した農業DX教育を実施
- イ スマート農業機械から収集したデータを分析し、産地全体の更なる収益向上につなげる「農業DX専門人材」を育成

### (5) 未来を担う女性農業者の活躍推進 [当初：14,777千円]

- ア 女性農業者の能力発揮や農業・農村における固定的な性別役割分担意識解消を目的とした研修を実施
- イ 認定農業者を目指す女性農業者を対象に、経営改善計画策定や新規導入品目の生産に必要な資材・機械の購入を支援



▲農村女性活躍応援研修

## 3 事業実施主体

(1) ① 県、市町村、農協等 ② 森林組合等 ③ 漁連、漁協 (2) 県

(3) ア 県 イ 農業経営体 (4) (5) ア 県 イ 農業経営体

## 4 補助率

(1) ① 定額、3/4以内、1/2以内、3/10以内 ② 定額 ③ 定額

(3) イ 1/2以内 (5) イ 1/2以内

## 5 事業実施期間

平成24～令和10年度

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初：1,858,832千円（1,746,139千円）、2月補正：26,928千円

《担当課：経営技術支援課、後継人材育成室、  
農林水産政策課、林業振興課、水産振興課》



# 県産農林水産物の販売・消費対策

## 1 事業目的

県産農林水産物と日本酒などの加工品を「福岡の食」として、外食事業者等への一体的な売り込みを強化するとともに、攻めの輸出拡大を展開し、県産農林水産物の販売・消費の促進を図る。

## 2 事業内容

(1) 「福岡の食」の販売・消費促進 [当初:67,269千円、2月補正:40,120千円]

### ① 新「食の王国・福岡」の魅力発信

ア 福岡の魅力的な食材やメニューを国内外の観光客等に発信し、食と自然・歴史文化を楽しむガストロノミーツーリズムを推進

イ 世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」のスターシェフを招へいし、産地視察やセミナーを実施

ウ 「福岡×新潟」の有名シェフがマリアージュメニューを開発し、両県の食と酒をPR



▲ガストロノミーツーリズム

### ② 県産酒の認知度向上

ア 県産酒を一堂に集めた「&SAKE FUKUOKA」の開催を支援

イ 新GI認定酒の消費拡大に向け、県産酒ナビゲーターの育成や公式ウェブサイトの多言語化を実施



▲県産酒「GI 福岡」ロゴ

### ③ 外食事業者への販売強化

ア 外食事業者等に対し、県産農林水産物及び酒などの加工品の一体的な販売促進を実施

イ 新アンテナレストランを拠点とした提案型商談会や、有名料理店における「魅力ある福岡フェア」の開催

## (2) 新 県産農林水産物の輸出先の多様化

[当初:31,155千円]

### ① ベトナムにおける活水産物の販路開拓

ア 活水産物(※)の輸出に向け、コールドチェーン整備のための試験輸出と着荷品質改善を実施

イ 輸出産地の育成を図るため、輸入業者との協議や現地ニーズの把握に生産者を派遣



▲県産カキ

※活(かつ)水産物:  
[生きたままの状態で  
流通される水産物]

### ② 台湾における県産酒の販路拡大

ア 台湾向け輸出入商社を県内の酒蔵へ招聘し、商談会を実施

イ 台湾の高級レストランにおいて、飲食店関係者向けに県産酒のPR商談会を実施



▲酒蔵の産地視察

(酒の原料となる麴を作る様子)

## 3 事業実施主体

(1) ①県 ②ア &SAKE FUKUOKA実行委員会 イ 県 ③県

(2) 県、福岡県産品輸出促進協議会

## 4 補助率

(1) ②ア 定額

## 5 事業実施期間

(1) ①ア 令和8～10年度 イ、ウ 令和8年度 ②ア 平成30年度～

②イ 令和8年度 ③ア 平成29年度～ イ 令和8～10年度

(2) ① 令和8～9年度 ② 令和8～10年度

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初:98,424千円(23,706千円)、2月補正:40,120千円

《担当課:福岡の食販売促進課、輸出促進課》



# ワンヘルスの推進

## 1 事業目的

農林水産業におけるワンヘルスを推進するため、ワンヘルスの森や動物保健衛生所の整備を進めるとともに、食育・地産地消の推進に取り組む。

## 2 事業内容

### (1) 新 ワンヘルスの森の魅力向上

[当初：152,804千円]

- ア 森林内の動植物を音声やAR（拡張現実）で案内する、全国初の「森林浴ガイドナビゲーションシステム」を開発
- イ ワンヘルスの学習機能を備えたビジターセンターの建設に向け、基本設計・実施設計を実施



▲森林浴ガイドナビゲーションのイメージ

### (2) 動物保健衛生所の整備

[当初：2,358,907千円]

#### ① 動物保健衛生所の施設整備

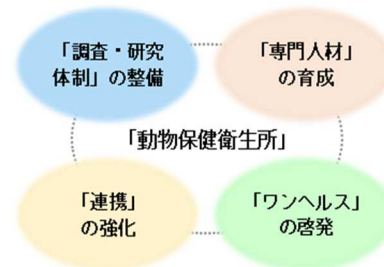
- ・家畜・野生動物・愛玩動物の保健衛生に一元的に取り組む動物保健衛生所の建築工事を実施



▲動物保健衛生所イメージ図

#### ② 新 動物保健衛生所の開設に向けた体制整備

- ア 野生動物等の検体確保に向け、農業者や猟師、獣医師への啓発資料を作成・配付
- イ 動物の感染症情報を大学や国の研究機関と共有するためのシステムを整備
- ウ 人と動物の健康維持に必要な感染症対策啓発イベントを動物園で開催



▲動物保健衛生所の体制整備コンセプト

### (3) 新 福岡の食材を学校給食に！食育・地産地消を推進

[当初：58,379千円、2月補正：372,441千円]

- ア 県産農林水産物の利用拡大を図る食材調達システムを開発
- イ 食材を効率的に調理場へ配送するため、プレハブ冷蔵庫等の導入経費を助成
- ウ 学校給食向け農産物の作付拡大に必要な農業機械等の導入経費を助成
- エ 「博多和牛」や「福岡有明のり」など、県産ブランド農林水産物の提供に必要な食材費を助成



▲博多和牛を使用した学校給食

### (4) 新 農産物直売所の機能高度化を支援

[2月補正：104,938千円]

- ・鮮度の高い商品を提供できる急速冷凍機導入や、農産物等の搬入効率向上のためのスロープ設置等に係る経費を助成

## 3 事業実施主体

- (1) (2) (3) ア 県
- (3) イ 農産物直売所、JA 等 ウ 農業者 等 エ 県学校給食会 等
- (4) 農産物直売所

## 4 補助率

- (3) イ ウ (4) 1/2 以内 (3) エ 定額

## 5 事業実施期間

- (1) (2) ② (3) イ ウ エ 令和8～10年度
- (2) ① 令和5～9年度 (3) ア 令和8～11年度 (4) 令和8年度

## 6 予算額 ( )は前年度予算額

当初：2,570,090千円(750,596千円)、2月補正：477,379千円

《担当課：林業振興課、畜産課、食の安全・地産地消課》

# 林業振興対策

## 1 事業目的

非住宅建築物の木造化による県産木材の需要拡大、高性能林業機械の整備や主伐の推進による県産木材の供給力強化を図るほか、特用林産物の新品種開発に取り組み、稼げる林業の実現を図る。

## 2 事業内容

### (1) 新 木を活かす街づくりを推進

[当初: 23,653 千円]

ア 非住宅建築物の木造化を加速させるため、建築物の設計に要する経費を支援

イ 若手設計者の育成を図るため、学生向けの木造建築デザインコンペを開催



▲非住宅木造建築物(イメージ)

### (2) CLTへの県産木材の利用拡大

[当初:20,301 千円]

ア 県産木材を利用したCLT製品の規格・寸法の見直しによる流通経費の低コスト化を実証

イ ビル建築を検討する民間事業者を対象に、CLT導入のメリット等を伝えるフォーラムを開催



▲CLT(直交集成板)を使用した建築物

### (3) 県産木材の供給力の強化

[当初:78,900 千円、12月補正:112,108 千円、2月補正:324,850 千円]

ア 高性能林業機械や路網、木材加工施設の整備に要する経費を助成

イ 森林組合等が行う主伐及び少花粉苗木の植栽に要する経費を助成

ウ 新 県内企業と連携し、立木状態で木材の強度を高精度で測定できる機器を開発



▲高性能林業機械

### (4) 稼げる林業をつくる！収益力向上対策

[当初:10,654 千円]

ア 市場価格に基づき、収益が最大となるよう自動で採材を行う「ICT高性能林業機械」の収益向上効果の検証を実施

イ 成長に優れた特定苗木の親木と認定するためのDNA解析を実施



▲DNA解析を実施する親木

### (5) 新 「博多えのき」新品種の開発

[当初:7,003 千円]

・消費者のニーズに応える、旨味が強い「博多えのき」の新品種開発に向け、有望系統を選抜



▲「博多えのき」

## 3 事業実施主体

(1) ア 民間事業者 イ 県 (2) 県

(3) ア 森林組合、民間事業者 イ 協議会、林業経営者等 ウ 県

(4) (5) 県

## 4 補助率

(1) ア 1/2 以内、(3) ア 1/2 以内

(3) イ 主伐: 定額 (500 円/㎡) 植栽: 定額 (100 千円/ha)、15%以内

## 5 事業実施期間

(1) 令和8~10年度 (2) 令和6~8年度

(3) ア 令和7~8年度 イ 平成26~令和8年度 ウ 令和8~10年度

(4) 令和7~9年度 (5) 令和8~10年度

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初:140,511 千円 (105,342 千円)

12月補正:112,108 千円、2月補正:324,850 千円

《担当課:林業振興課、農林水産政策課》



# 水産振興対策

## 1 事業目的

福岡有明のりの生産強化や県産水産物の取引拡大に取り組むとともに、漁場環境の保全や水産資源づくりにより、本県水産業の更なる振興を図る。

## 2 事業内容

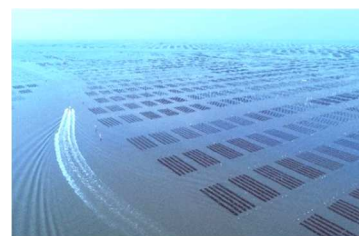
### (1) **新** 気候変動をノリ越える！「福岡有明のり」の生産を強化 [当初:24,038 千円]

#### ① 新たな種網生産体制の構築

- ・気候変動に対応するため、陸上採苗した種網や、海況が良い年に採苗し冷凍保管して越年させた種網を養殖に利用できる技術を開発

#### ② 漁場のフル活用による生産規模の拡大

- ・浅場漁場の有効活用のため、カモの食害を防止するとともに高性能漁船に対応した養殖技術を開発



▲有明海のノリ養殖風景

### (2) 応援の店と進める県産水産物の販売促進 [当初:18,354 千円]

#### ① ふくおかの地魚の取引拡大を推進

- ア インバウンド客に向けて、県産水産物と併せて日本文化も楽しめるフェアを開催
- イ 豊築・有明地域の観光客に向けて、特産水産物(ハモ・福岡有明のり)を使用したフェアを開催



▲フェアで提供されたハモのピザ

#### ② **新** 産地で実感！ふくおかの地魚の魅力を発信

- ・応援の店の料理人を対象として、県産水産物の魅力を実感してもらう産地ツアーを実施

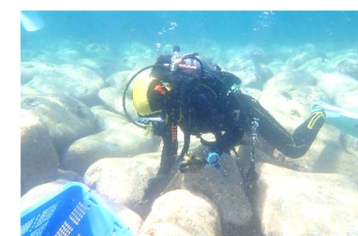


▲産地での視察イメージ

### (3) **新** 漁場環境の保全 [当初:32,710 千円]

#### ① 藻場の再生によるブルーカーボン創出の推進

- ア ブルーカーボンのクレジット化に向け、漁業者による藻場のCO<sub>2</sub>固定量の円滑な取引を支援するため、CO<sub>2</sub>算定技術を実用化
- イ 藻場保全活動の拡大に向け、ウニの効率的な除去手法を検証



▲ダイバーによるウニ除去

#### ② きれいで豊かな博多湾の海づくりを推進

- ・環境基準に係る水域類型の見直しを検討するため、水産生物に必要な海水中のリン濃度を算定



▲博多湾

### (4) 水産資源づくりの推進 [当初:32,840 千円]

#### ① 水産資源の管理を推進

- ・休漁日の設定等の漁業者が行う資源管理の取組を支援

#### ② 内水面における水産資源の増殖

- ・筑後川や矢部川等におけるアユ等の種苗放流を実施

## 3 事業実施主体

(1) (2) 県 (3) ① ア 県、団体 イ 県 ② 県 (4) ① 県、漁業団体 ② 県

## 4 補助率

(3) ① ア 定額 (4) ① 定額、3/4 以内

## 5 事業実施期間

(1) 令和8～10年度 (2) ① 令和7～9年度 ② 令和8～10年度  
(3) 令和8～10年度 (4) 平成27年度～

## 6 予算額 ( ) は前年度予算額

当初:107,942 千円 (46,091 千円)

《担当課：漁業管理課、水産振興課》



# 中山間地域の活力向上

## 1 事業目的

薬用作物の生産拡大や、中山間地域の新たな収入源の確保を進めることにより、中山間地域の活力向上を図る。

## 2 事業内容

### (1) 薬用作物の生産拡大 [当初:10,664 千円]

- ① 生薬用赤シソの生産拡大支援
  - ・新規作付に必要な農地の土壌改良や資材整備に要する初期費用を助成
- ② 中山間地域に適した薬用作物の開拓
  - ・薬用作物の自生状況や周辺の植生・土壌等の環境データを収集する自生地調査を実施

### (2) **新** 中山間地域の新たな収入源確保 [当初:10,821千円]

- ① 薬用作物の化粧品分野等への活用に向け、大学と連携した需要調査や栽培技術指導を実施
- ② 新たな薬用作物の作付に必要な農地の土壌改良や機械導入に要する経費を助成



▲薬用作物等の活用例

## 3 事業実施主体

(1) ① 生産者 ② 県 (2) ① 県 ② 生産者

## 4 補助率

(1) ① 定額 (2) ② 定額、1/2

## 5 事業実施期間

(1) 令和6～8年度 (2) 令和8～10年度

6 予算額 ( ) は前年度予算額  
当初: 21,485千円 (29,013千円)

《担当課: 農山漁村振興課》

# 総合的な鳥獣対策の推進

## 1 事業目的

集落や農地への有害鳥獣の侵入防止対策、捕獲対策及び獣肉有効活用対策を総合的に実施する。

## 2 事業内容

### (1) 侵入防止対策 [当初:552,419千円]

- ア 被害が発生している農地等を対象に侵入防止柵の整備経費を助成
- イ 追い払い等の地域ぐるみの被害防止活動を支援
- ウ 人と野生動物との棲み分けを図るため、不要木を伐採した緩衝地帯の整備等を支援



▲侵入防止柵

### (2) 捕獲対策 [当初:434,263 千円]

- ア 野生鳥獣の行動域を見える化するシステムと連携可能なICT機能付きわなの導入を支援
- イ 捕獲従事者を養成するため、狩猟免許取得者を対象とした集合研修やマンツーマン研修を実施
- ウ 捕獲機材の導入、捕獲活動に係る経費を助成



▲狩猟免許取得者の集合研修

### (3) 獣肉有効活用対策 [当初:22,554 千円]

- ア 未活用の捕獲獣を県域で収集し、ペットフード原料として有効活用するため、収集・加工する体制の整備に係る経費を助成
- イ 「ふくおかジビエの店」認定店と連携した消費拡大イベントを実施



▲ペットフード用ジビエふりかけ

3 予算額 ( ) は前年度予算額  
1,009,236 千円 (968,397 千円)

《担当課: 経営技術支援課、林業振興課》